



立志の教育



◎いじめとは

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校内外を問わない。

学校が再開し、1ヶ月が過ぎました。自分の言葉や態度で、友達の「笑顔」を「悲しい顔」にしてないか、一人ひとり振り返ってみてください。

【いじるはいじめです！】

芸能界では落語家や役者が、舞台からお客様をからかうことがあります。「こんな昼間から、よっぽど暇なんですね」と言って笑いを誘います。笑いを取り客席との距離を縮めるのです。

芸能界ではこれを「客いじり」と言うそうです。「からかう」意味の「いじる」が世間に受け入れられるようになったのは、テレビのバラエティ番組の影響が強いと思います。

芸人が芸人をからかう映像が頻繁に流れます。からかうことを日常生活の当たり前のことのように、私を含め視聴者が受け止めることに危惧を感じます。芸人の中には「いじっていただき、ありがとうございます」とお礼を言う人もいます。

このような影響からか、いじめた本人から「いじめではなくいじっているつもりだった」とか、「いじめではなく冗談のつもりだった」という言い訳が聞かれることもあります。皆さんは、経験したことがありますか？

人を踏みつけたり、からかい、いじる側は常に相手に対して鈍感です。鈍感な人はいじるがいじめだと気づかない人です。

いじるはいじめです。常に相手の立場になって、優しい心で友達に接していきましょう。

◎他人を思いやる心

新聞記事より

「医療従事者へ 偏見消えず」

医療従事者への差別や偏見は消えていない。

「スーパーで、医療従事者の客は申し出るよう言われた」「医療従事者と分からないようにホテルに泊まるよう、勤務先の病院から指示された」。医療関係者ら17万3000人からなる「日本医療労働組合連合会」には、今もそんな悩みが寄せられている。5月の「母の日」に東北地方の母親にプレゼントを贈った神奈川県内の病院の看護師は、親族から「コロナを送ってくるな」と言われたという。

一方、医療従事者に感謝を表す取り組みが各地に広がり、変化も起きつつある。

感染者を受け入れる川崎市立多摩病院の看護師たちは、知人・友人から「大変な時にコロナの治療にあたってくれてありがとう」と気遣いの言葉をかけられる機会が増えたと感じている。職場の士気も高く、コロナ患者の担当から配置転換を打診された看護師全員が「第2波の準備をしたい」などと残留を希望した。

佐藤美子副院長・看護部長は「看護師も治療やケアへの自信がつき、差別に立ち向かう意識も強くなってきた」と話している。

上記の新聞記事を読んだ感想は？ 始業式・入学式で皆さんにお願いしました。「コロナ差別」は絶対にしないでください。今、大切なことは、マスクの着用・手洗い・三密にならないように気をつけて生活すること。気をつけることは、自分や家族を大切にすることや「他人を思いやる」ことに繋がっています。



